

# 小型トラックの動力伝達装置のリコールについて

平成 25年2月21日

## リコール届出番号3107

平成25年2月21日、UDトラックス株式会社に車両を供給している日産自動車株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

## 1. 不具合の状況

- 自動6速マニュアルモードトランスミッションにおいて、
  - エンジンのオイルパンの形状が不適切なため、トランスミッションとの連結部から雨水等が浸入するものがあり、クラッチレバーの支点が錆びて固着し、クラッチが切れず、警告灯を点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがあります。
  - セレクト用シャフトとセレクトモータを連結する部品のボルト締付けが不適切なため、当該ボルトが緩んでガタが発生するものがあり、シフトコントロールユニットの指示とシフト位置にずれが生じるため、警告灯が点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがあります。
  - クラッチディスクのブッシュの強度が不足しているため、クラッチ操作の繰り返しにより当該ブッシュが破損し、破損片がクラッチカバーとクラッチディスク間に噛みこんでクラッチが切れなくなることがあり、警告灯が点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがあります。
  - クラッチ作動用アクチュエータの制御プログラムが不適切なため、クラッチ作動時にクラッチアクチュエータ内のモータに過電流が流れ、モータ内のブラシホルダが過熱してブラシが固着するため、クラッチが作動せず、警告灯が点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがあります。

## 2. 改善の内容

- 全車両、当該オイルパンを対策品と交換します。
- 全車両、トランスミッションの製造番号を確認し、対象の場合、当該締結ボルトを新品と交換し、適切な締付トルクで締め付けます。

3. 全車両、当該クラッチディスクを対策品と交換するとともに、クラッチカバーを新品と交換します。

4. 全車両、トランスミッションコントロールユニットをクラッチ作動用アクチュエータの制御を変更した対策プログラムに書き換える。尚、故障診断にてクラッチアクチュエータ異常が検出された場合は、当該クラッチアクチュエータを新品と交換します

### 3. 対象車両

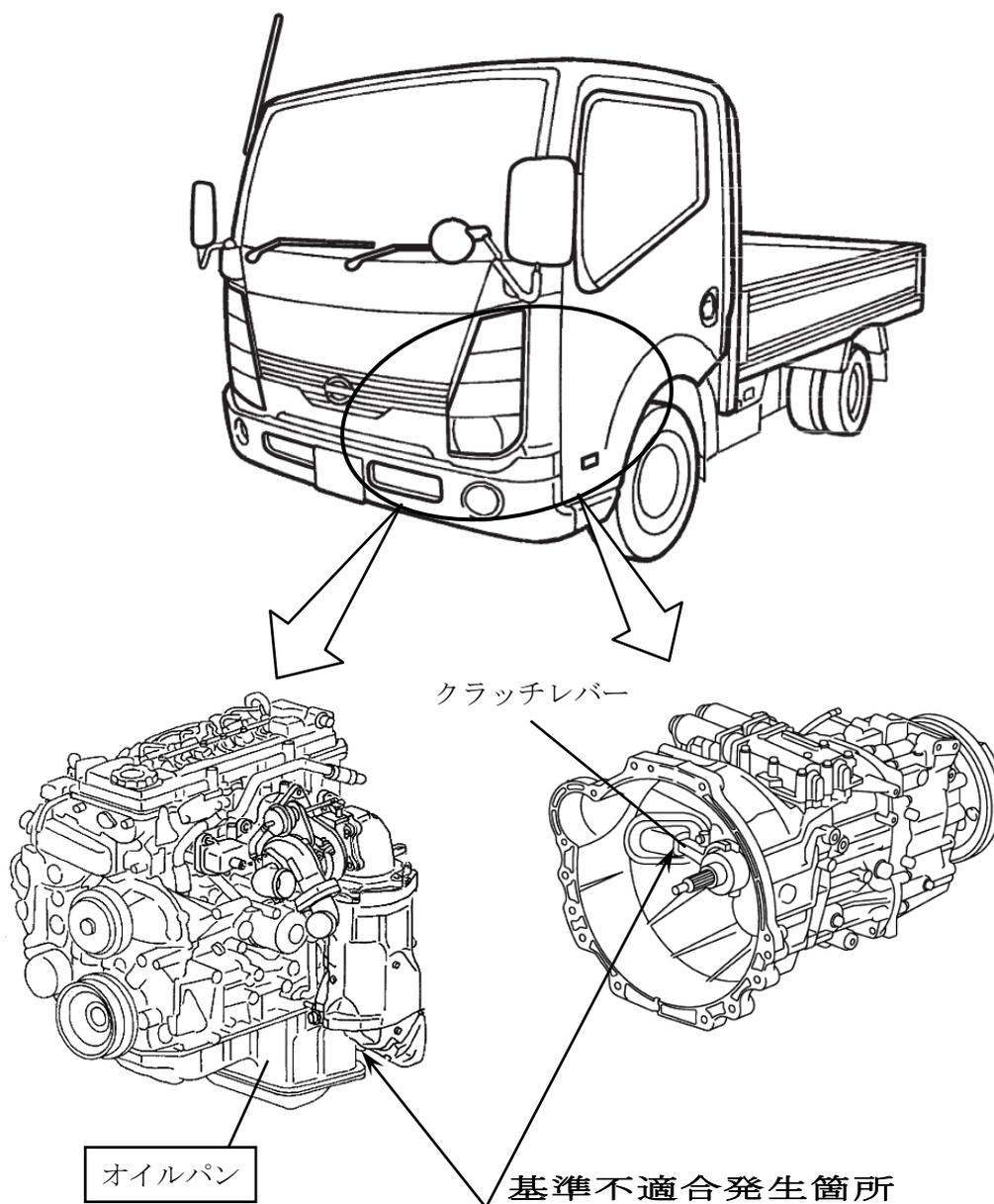
- 日産自動車株式会社が製作し、UDトラックス株式会社が販売している小型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

型式	通称名	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数	備考
PDG-NSZ2F24 PKG-NSZ2F24	コンドル	SZ2F24-500110～SZ2F24-550004 平成20年1月11日～平成23年7月8日	18	① 12 ② 16 ③ 17 ④ 18
PDG-NSZ1F24		SZ1F24-500105～SZ1F24-505003 平成20年2月6日～平成22年2月1日	2	① 1 ②③④ 2
PDG-NSZ2F24 PKG-NSZ2F24		TZ2F24-510103～TZ2F24-525003 平成19年10月23日～平成22年12月2日	12	① 8 ②③④ 12
PDG-NTZ3F24		TZ3F24-500101～TZ3F24-510001 平成19年10月3日～平成22年8月18日	4	① 3 ②③④ 4
計6型式	計1車種	製作期間の全体の範囲 平成19年6月15日～平成23年8月28日	合計36台	① 24 ② 34 ③ 35 ④ 36

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

## 改善箇所説明図①



自動6速マニュアルモードトランスミッションにおいて、エンジンのオイルパンの形状が不適切なため、トランスミッションとの連結部から雨水等が浸入するものがあり、クラッチレバーの支点が錆びて固着し、クラッチが切れず、警告灯を点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがある。

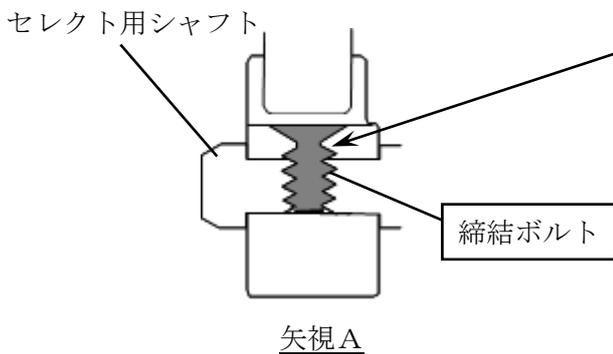
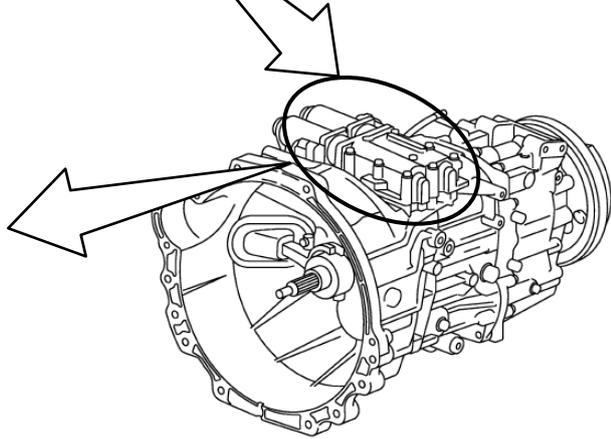
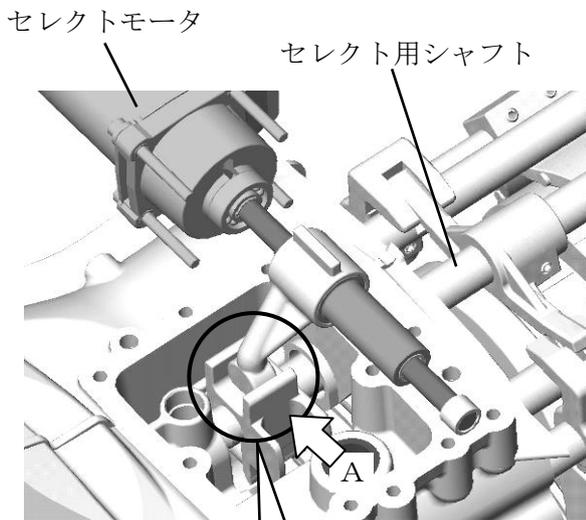
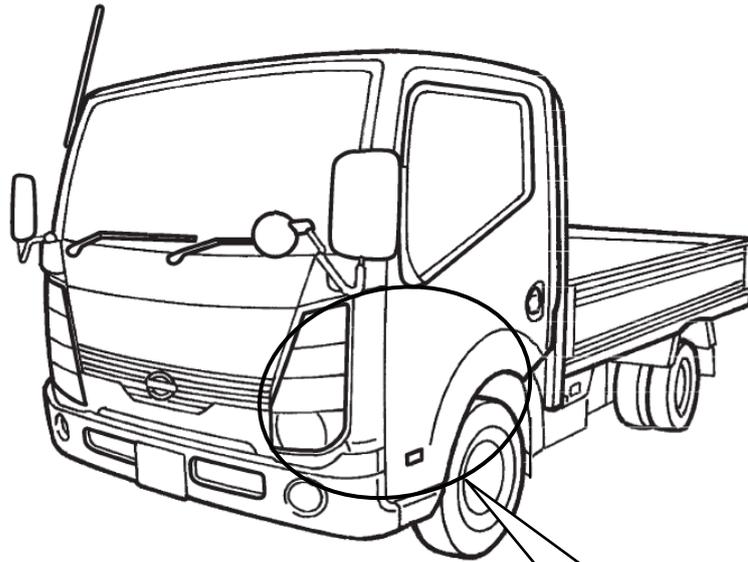
### 改善の内容

全車両、当該オイルパンを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注：  は、交換部品を示す。

## 改善箇所説明図②



### 基準不適合発生箇所

自動6速マニュアルモードトランスミッションにおいて、セレクト用シャフトとセレクトモータを連結する部品のボルト締付けが不適切なため、当該ボルトが緩んでガタが発生するものがあり、シフトコントロールユニットの指示とシフト位置にずれが生じるため、警告灯が点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがある。

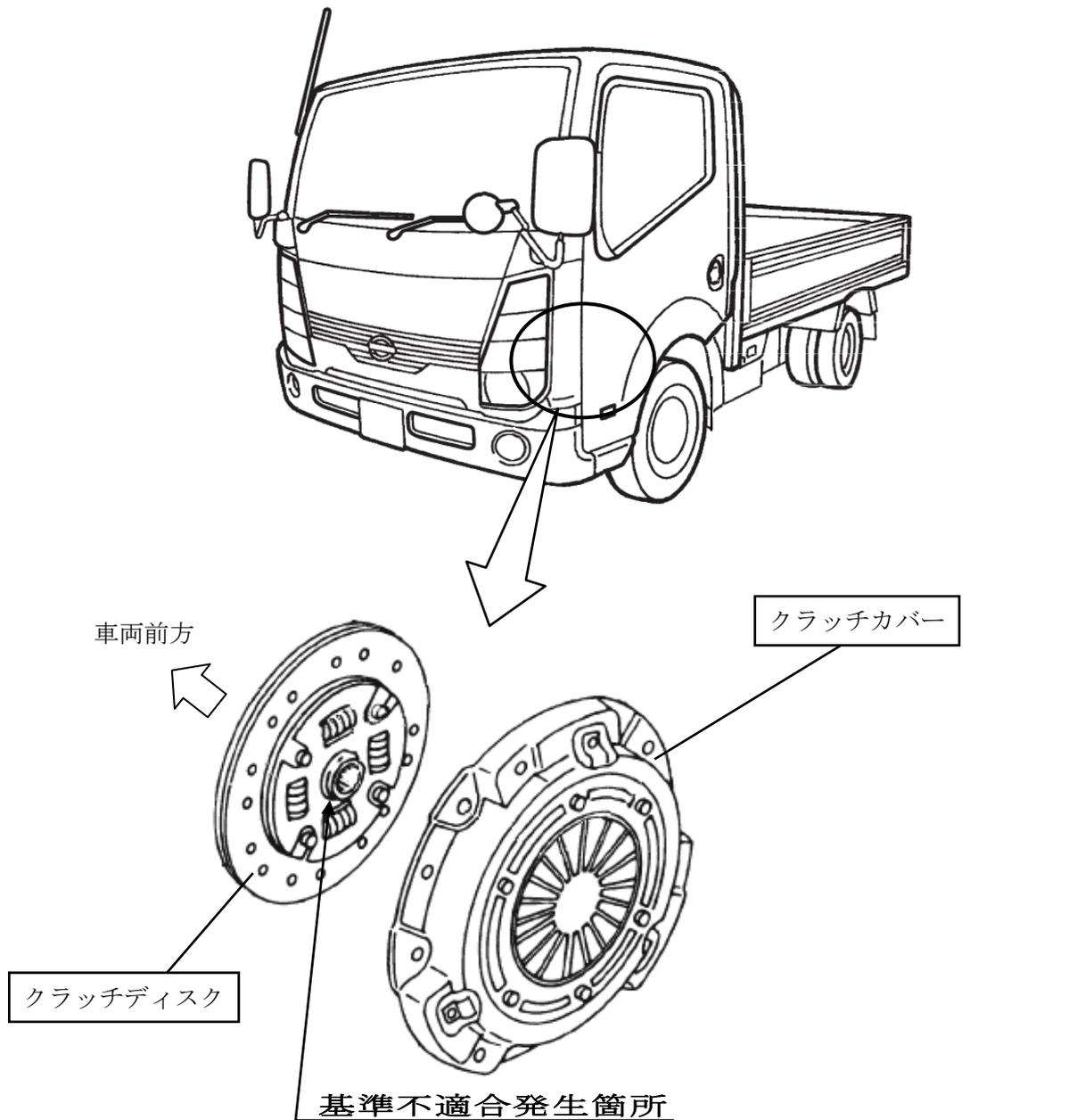
### 改善の内容

全車両、トランスミッションの製造番号を確認し、対象の場合、当該締結ボルトを対策品と交換し、適切な締付トルクで締め付ける。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注：  は、交換部品を示す。

### 改善箇所説明図③



#### 基準不適合発生箇所

自動6速マニュアルモードトランスミッションにおいて、クラッチディスクのブッシュの強度が不足しているため、クラッチ操作の繰り返しにより当該ブッシュが破損し、破損片がクラッチカバーとクラッチディスク間に噛みこんでクラッチが切れなくなることがあり、警告灯が点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがある。

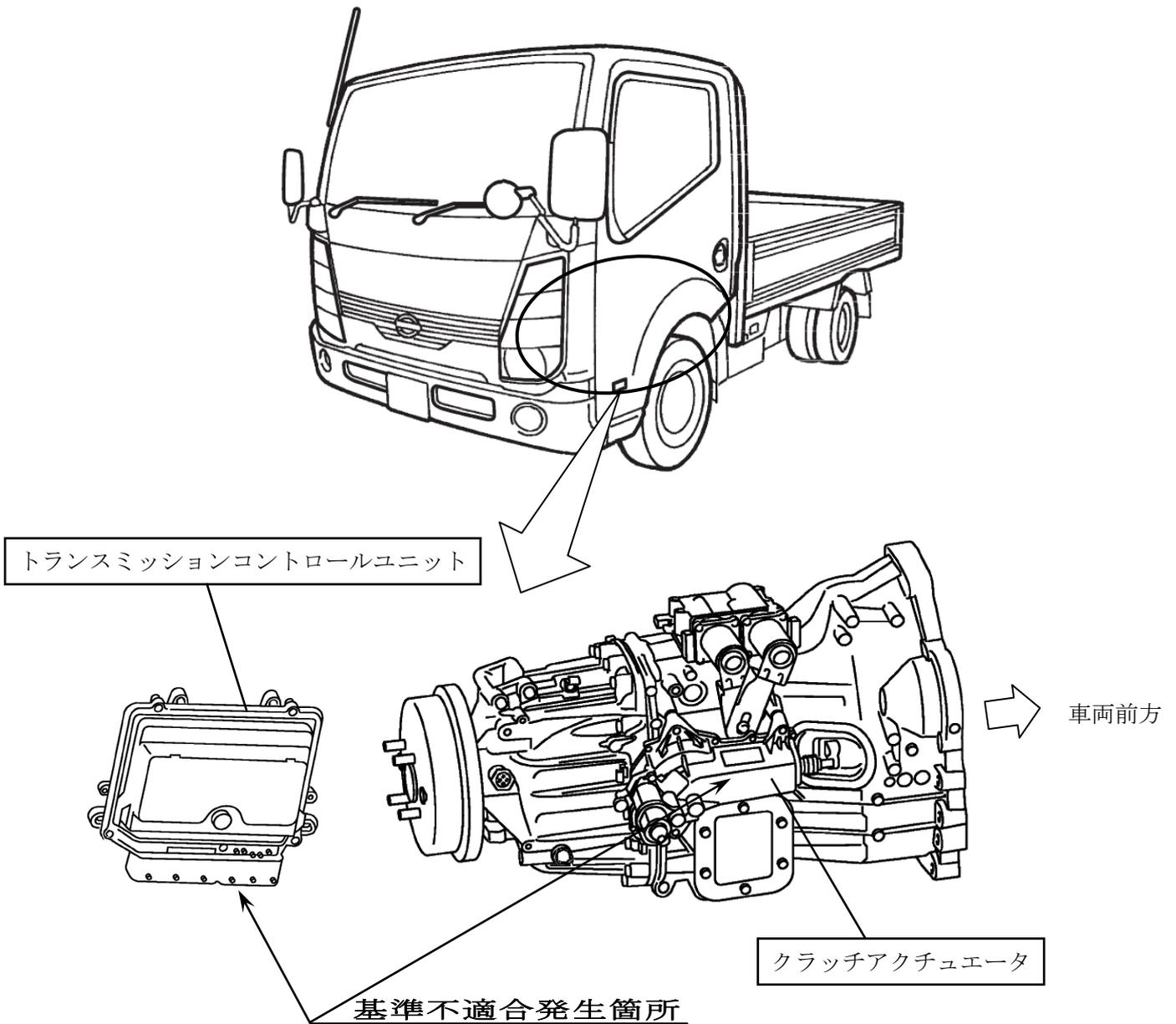
#### 改善の内容

全車両、当該クラッチディスクを対策品と交換するとともに、クラッチカバーを新品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注：  は、交換部品を示す。

## 改善箇所説明図④



自動6速マニュアルモードトランスミッションにおいて、クラッチ作動用アクチュエータの制御プログラムが不適切なため、クラッチ作動時にクラッチアクチュエータ内のモータに過電流が流れ、モータ内のブラシホルダが過熱してブラシが固着するため、クラッチが作動せず、警告灯が点灯するとともに保護制御によりギヤを固定して、変速できなくなるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、トランスミッションコントロールユニットをクラッチ作動用アクチュエータの制御を変更した対策プログラムに書き換える。尚、故障診断にてクラッチアクチュエータ異常が検出された場合は、当該クラッチアクチュエータを新品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注：  は、修正する部品を示す。